

丹波市議会だより

たんばりんぐ

平成 29 年
7
No.50

TAMBA CITY

毎でやってほしい

50

のこと

50議間思50
の会いい号
ことでて切だ
★やってみっ
てた！つから
てほしい！50
人に

★ 50 + 375 + 4 + 2 + 1 = 432 *
★ たんさんの声がありがとう

CONTENTS

議会でやってほしい50のこと	2
6月定例会 ココがギロンの論点	6
議案の審議結果	9
16人の議員が一般質問	10
先進地に学ぶ視察報告	16
市民と議員の距離が近づく議会報告会	18
議会進化論 Vol.1	19

※特集 50 議会報告会 375 議案 4 議場見学 2 傍聴 1

TAMBARING 50

議員さんには、子育て支援の発言をたくさんしてほしいなあ。

子育てサークルに助成金があるので助かっています！

入院の時など、ファミリーサポートに預けるにも、双子だと料金も2倍なのでためらってしまいます。

心のよりどころになっています。友だちの威力、すごいよ！



双子子育てサークル「ぐりぐらクラブ」ゆめわあく柏原の農園にて

丹波市のココに期待しています！

わたしたちも、丹波市に期待しています！

行政情報もだれもが使えるようにするオープンガバメント化を進めてほしい。

小学校でも必修化されるプログラミング教育。楽しく役立つものになるように今から研究を。

市内のどの子育て学習センターにも行けるようになるといいな。

安全に配慮した手頃な公園がそれぞれの地区にあるといいな。

こども園になると行事が減るの？夏祭りや遠足をしてほしいな。

子育てイベントでの出会いが大切。乳幼児のイベントもこれまで通りたくさんして欲しいな。



自分たちのまちに必要な写真データなどの共有化を進めている「オープンデータ@丹波実行委員会」



子育てサークル「アウトドアkids」水分け公園にて

発行：兵庫県丹波市議会
編集：議会報編集委員会
〒669-3692 兵庫県丹波市
水上町成松字甲賀1番地
TEL 0795-82-1472
FAX 0795-82-1523
E-mail: gikai@city.tamba.lg.jp

委員長 小橋 昭彦
副委員長 大西ひろ美
委員 渡辺 秀幸
委員 大嶋 恵子
委員 広田まゆみ
委員 西脇 秀隆

「発行責任者」
議長 太田喜一郎
「議会報編集委員会」

議会だより50号を記念して、今回は50人の市民の方々に「議会だより50のこと」と題して意見をいただきました。発行は七月。七夕にちなんで、みなさんの願いが成就すれば最高です。ひとつでも多くの願いを叶えられるよう、議員一同がんばります。

たんばりんぐ

他地域の大きな病院や大型店舗へも直接行けるよう、デマンドバスを広範囲で使えるようにしてほしい。

美和地区から黒井城への登山道を整備し、九尺ふじ祭とセットで観光地化を。

議会の内容が身近に感じられ、理解しやすいような表現を。

駅に降りた人がすぐにわかる場所に観光案内所の看板を設置するなど、観光に力を。

松岡幸代さん (春日地域)



淵上敏彦さん (市島地域)



秦 佳央里さん (市島地域)



菊澤貞之さん (柏原地域)

議会に届いたみんなの想い。

健康長寿日本一が目標ですが、公共施設の有料化では有言実行にならないと思います。

子どもの教育に力を。特に通学路の安全対策に力を入れてほしい。

1人1人が話しやすいと嬉しいです。

それぞれの課題にしっかり対応していただきたい。

藤本修作さん (春日地域)



田中健次郎さん (山南地域)

岸名美沙貴さん (市島地域)

大槻襟加さん (市島地域)

92才、苦しいこともありましたががんばってきました。議員さんも精一杯、丹波市のためにがんばってください。

子育て、定住、新病院…。住み続けたいまちだからこそみんないろいろ願っている。

子育て中なので、子育て応援、負担軽減に力を入れてください。

病院など大事業と合わせ、各地の課題にも目配りし、元気な地域づくりを。

50のこと

病院・スーパー・役所等を回るシャトルバスの早期実現。高齢免許証返還者は無料に。

垣内久子さん (氷上地域)



子どもからお年寄りまで、だれもが身近に感じることができるといい議会であってほしい。

身近に感じ、いつでも話せる議員さんであってほしい。

チェック機能にとどまらず、政策立案の強化に取り組んでほしい。

山中利樹さん (青垣地域)



女性消防団員を増やすため、団員確保と入団促進に力を貸してほしい。

より多くの人々が快適に利用できる図書館になるよう議論してほしい。

住みやすい丹波市をめざし、こども手当やこども医療の充実を。

内堀恭子さん (柏原地域)



まちの歴史や史跡はまちの資源。その資源を活かしたまちづくりを市民参画で！

山本篤史さん (市島地域)



市の基幹産業は農業です。私も専業農家ですので、農業に力を入れてほしい。

丹波市は、将来消滅する可能性のある896自治体に含まれています。老人に手厚く、若者に厳しい社会保障政策ではなく基本的な対策を。

平野照美さん (山南地域)



三井和俊さん (春日地域)



見逃された丹波の自然をビジネスに！林業・農業・酪農の発展と整備の充実を！

上田吉美さん (柏原地域)



足立沙耶さん (柏原地域)



井土哲也さん (春日地域)



村上正樹さん (春日地域)



みなさんの側に寄り添える市議会でありたいから…。みなさんの声をお聴きしました。

市議会では、「市民目線で開かれた議会」をめざし、議会だよりの発行や議会報告会などの広報広聴活動を行っています。今回は、市民のみなさんが議会に何を求めておられるのかをお聴きし、紙面を通じて伝えたいと、「議会ですべての50のこと」と題してご意見をお聴きしました。

行政も市民もだれもが市の現状と改善点に気づける質疑を期待しています。

足立貴久さん (青垣地域)



女性に比べ元気がない男性が多いように思う。青年も大人も元気になる施策を。

山本 一さん (氷上地域)



松浪秀人さん (山南地域)



古谷暁子さん (市島地域)



足立安弘さん (青垣地域)



何か行動に移すとき、心にピピッとくる思いを大切にしてほしい。

足立詩名さん (青垣地域)



議会でもやってほしい50のこと

特に若年層が「丹波に生まれてよかった」と誇れるまちになってほしいです。

タブレットの方が授業が早く進み復習も素早くできるから、授業をタブレットで受けられるといいです。

夏は暑いので教室にクーラーをつけてほしいです。でも、夏休みが短くなるのは嫌なので、夏休みの日数は変えないでほしいです。

議長

西脇和樹さん (山南地域)
 岡林和貴さん (柏原中2年)
 谷口天翔さん (柏原中2年)

高齢者が利用できる、便利でお手頃な交通手段について議論してほしい。

人口減少、高齢化など、市の危機は待たなし。同様の地域に学び、危機感をもって議論を。

病気の患者さんや家族を支援する会の活動を、後押しするような施策に期待。

市民の代表である自覚、目・耳・足・口となり、境のない地域づくりを。

大前泰子さん (氷上地域)
 伊藤由起さん (氷上地域)
 足立一雄さん (青垣地域)
 大越節美さん (青垣地域)

「このまちに生まれてよかった」と誇れるまちに。
 若者も大人も、そして未来を担う子どもたちも、だれもが「丹波に生まれてよかった」「丹波に来てよかった」と誇れるまちに。

行政に問題点を指摘・質問するだけでなく、具体的な解決策を提言、実行していただきたい。

細見 豊さん (氷上地域)

不登校・ひきこもりの子ども・若者の支援を。当事者主体の支援ネットワークの充実を。

竹安 恵さん (柏原地域)

休日や夜間にも議会を開いて若い人たちにも傍聴してもらい、これからの丹波市を一緒に考えてほしい。

中道千代子さん (氷上地域)

他県から転入しました。住民の声に耳を傾け、住民の声が届く議会であってほしい。

藤井真理さん (氷上地域)

市民の声を真剣に聴こうとする議員さんが増えたように感じます。対話が大事ですね。

川口雅子さん (氷上地域)

若者のUターン促進のために、何ができるのか議論してほしい。
 「やっぱりここがいちばんほっとする場所だから—。」進学で丹波を離れた子どもたちが、また戻ってこれるまちに。

若者のUターン促進のために議員の方が何ができるのか議論してほしい。

梅田健太さん (氷上地域)

「この街に暮らせてよかった」そんな街づくりを。

寺内孝芳さん (山南地域)

新人議員のみなさんが得意分野を生かし、先輩議員と連携しながら、人口減少の歯止め策となる議員提案を。

坂谷高義さん (市島地域)

農業についてもっと議論してほしい。

須原隆一さん (市島地域)

小学校が統合して地域から失われないよう、がんばってほしい。

渡辺美香さん (春日地域)

地域で世代を越えて、人と人が理解しあえる住みよい環境づくりを少しずつ進めてほしいですね。

前田朝美さん (青垣地域)

市議会の今の状況がよくわからない。市民ファーストでやってほしい。

谷川哲也さん (氷上地域)

議会に届いたみんなの想い。

市の中心地以外の活性化にも取り組んでほしい。

森田和志さん (山南地域)

市民が地元を好きになるきっかけづくりや、魅力発信を望みます。

稲継嘉和さん (山南地域)
 植地 惇さん (青垣地域)

まだ声になっていない意見をすくいあげる議会であってほしい。

齋藤 文さん (山南地域)

創刊号をひらいてみると...

創刊号では、市議会議員としての第1歩を踏み出した30名の議員を紹介。また、12月16日から50日間の会期で行われた初議会では、237件の条例制定をはじめ災害復旧に19億円の予算が計上されるなど、333件の議案がすべて原案通り可決されています。

創刊号はこちらからご覧いただけます。

新生丹波市に寄せる熱い思いがそれぞれの抱負に表れています。

新しい丹波市のメロディーを奏でていただきたいという願いが込められています。

今号では50人の方の声を聴きし掲載しました。これからも紙面を通してたくさんの方の声を伝えし、市民と議会をつなぐ「たんばりんぐ」でありたいと思っております。ご意見やご質問を歓迎いたします。

議長 太田喜一郎

創刊当時の愛称「たんばりんぐ」には、合併したのこの地域が輪(和)になり、楽器のタンバリンのようにこぎやがこ議論し、

「たんばりんぐ」に込めた想い

創刊当時の私も編集委員の一人として編集作業に携わっておりましたが、よりよい議会だよりに向けて委員同士で議論を重ねた日々をなつかしく思います。

50号を振り返って

平成17年3月の創刊号から、延べ42人の編集委員が検討を重ね、リニューアルを繰り返しながらその時々々の市議会の姿を伝え続けてきた議会だより「たんばりんぐ」も、今回で50号を迎えました。創刊当時、私も編集委員の一人として編集作業に携わっておりましたが、よりよい議会だよりに向けて委員同士で議論を重ねた日々をなつかしく思います。

おかげさまで50号
 Special Thanks!

50号を記念して、「議会でもやってほしい50のこと」と題しみなさんの声をお聴きしました。取材を通じ、市民のみなさんに「一歩」近づくことができたような気がします。これからも、対話を通じて少しでも議事を身近に感じていただくとともに、ご意見を市政に反映できるよう努めていきますので、ご協力をお願いします。

4つのギモン

1 なぜ入札不調が^{※1}相次いでいるの?

答 6月14日に議員総会を開き、県病院局職員を交えて議論しました。県担当者は、入札不調が2回続いた設備工事についての質疑で、「見込み(予定価格の積算)が甘かったと言われればその通りだ」と認めました。議会としては、見込みの甘さが丹波市の負担増につながることはないよう指摘しました。

2 市立看護専門学校の建設にかかる市の負担は増えるの?

答 看護専門学校と寄宿舎などの整備について、議会への十分な報告がないまま3月に覚書が交わされ、県からの支援額の上限が決まられていました。議会としては、見積価格(設計単価)を引き上げるなら支援額の上限も引き上げるよう申し入れを行い、県からも上限を引き上げる考えが示されました。

3 協定では、市立看護専門学校にかかる市の実質負担額は「ゼロ」だったのでは?

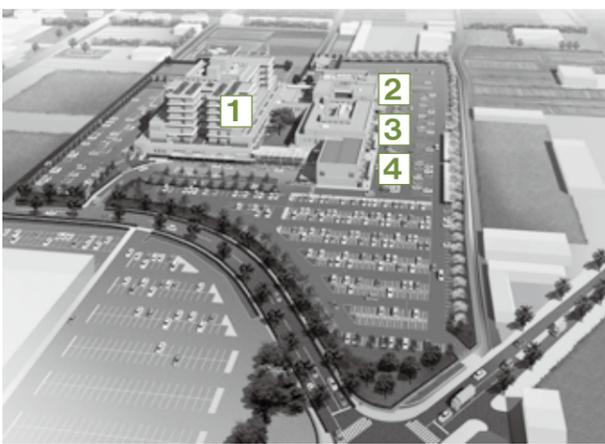
答 5年前、看護専門学校が県から市に移管されるときに取り交わされた協定に、市の実質負担額はないという記述がありました。これに対する県の見解は、県が標準的施設と判断する分については市の実質的負担はゼロ、県が標準的施設と考えないが市が必要と考えるものについては、市の負担となるというものでした。たとえば、ランチルームなどは市の負担にあたるということでした。

県の財政支援の対象にならなかったもの

実習準備室の一部・標本室・ランチルーム・会議室の一部・その他共用部分の一部などです。また、校舎棟や体育館兼講堂の設備・備品費も一部対象外となります(ただし、運営支援の対象となるよう調整中)。

4 土地の購入はまだ?

答 土地の購入費として、今回の定例会で、平成30年度を期限とした債務負担行為^{※3}の補正予算が計上されました。
一般会計：2億6千万円
看護専門学校特別会計：1億円



1 県立丹波医療センター(仮称)
2 市立看護専門学校
3 丹波市地域医療総合支援センター(仮称)
4 講堂兼体育館

県立丹波医療センター(仮称)を核とし、丹波市地域医療総合支援センター(仮称)、市立看護専門学校を加えた「ハイブリッド施設群」が、いよいよ建設に向けて動き出しました。

丹波市の医療・保健・福祉・介護・教育機能の充実が期待されますが、入札不調などの報道で心配されている市民の方も多くあります。市議会では、みなさんの声を代弁し、不調に至った経緯や市の負担額の変化などについて、厳しくチェックしています。

今回は、市や県への聞き取り(質疑)で分かったことについてお知らせします。

平成31年度上期の開院(開設)をめざして進んでいます。



附帯決議を可決しました^{※2}

今回、丹波市地域医療総合支援センター(仮称)と市立看護専門学校建設工事に関する変更協定の締結議案を可決しました(9ページ参照)。

協定額の変更は、市に大幅な負担増を求めるもので納得しがたいところですが、市民の健康を守るセンター等整備の実現は市民のみなさんにとって大きな希望でもあります。

市議会では、これまでの経緯を踏まえ、これ以上の財政負担額の増加が生じないよう配慮することや、重要な変更等が行われる場合には遅れることなく報告等を行うことなどを、附帯決議として全会一致で可決しました。この決議により、今後の行程がスムーズに進められることを望みます。

その他の議案については、9ページの審議結果をご覧ください。

決議文は市議会ホームページをご覧ください。



※3 債務負担行為：複数年契約の際の、次年度以降の支出予定額をあらかじめ計上しておくもの。たとえば、3年にわたる大規模工事など次年度以降も確実に支払いが見込まれる場合に、「債務負担」としてその事業に必要な予算を計上します。



※1 「入札不調」：入札を行った業者すべてが予定価格を超えていた場合や、すべての業者が辞退した場合など、落札業者が決まらないこと。
※2 「附帯決議」：議決の際に付け加えられる議会からの要望や意見で、政治的に尊重されるべきもの。

■全員賛成で可決した議案

予算	補正予算
一般会計補正予算（第1号）… 農の学校開校準備委託料 1,100万円ほか	
地方卸売市場特別会計補正予算（第1号）	
一般会計補正予算（第2号）…地域医療総合 支援センター（仮称）土地購入費として2億 6,000万円の債務負担行為を計上するもの →P7	
看護専門学校特別会計補正予算（第1号）… 土地購入費として1億円の債務負担行為を計 上するもの→P7	

契約	契約の締結※
消防団ポンプ自動車購入契約…柏原第1分団 第3部と春日第1分団第1部に消防自動車各 1台を購入（契約）するもの。尙西垣消防器 具製作所 3,873万円	
消防ポンプ自動車購入契約…尙西垣消防器具 製作所 3,705万円	
一般廃棄物処理施設解体工事請負契約…市島 クリーンセンターの解体・撤去工事を行うもの。 契約相手先：村本・森田特定建設工事共 同企業体 契約金額：1億8,209万円	

契約の締結：予定価格が2,000万円以
上の財産の売買（契約）、1億5,000万
円以上の工事または製造の請負については、議
会の議決が必要。ただし、土地は5,000㎡以
上に限る。

協定	協定の変更
市地域医療総合支援センター（仮称）及び市 立看護専門学校建設工事に関する変更協定… 入札不調による設計変更及び看護専門学校に かかる事業費を増額するために協定事業費を 増額するもの（2億6,400万円増）	

条例	条例の改正
国民健康保険税条例	
職員の分限及び懲戒に関する手続及び効果に 関する条例…他市の状況を考慮して失職特例 を認めるもの	
職員の育児休業等に関する条例…国の改正に 伴い、育休期間の延長等ができる特別な事情 に保育所等への入所待ちが追加されるもの。	
市立住民センター条例…氷上住民センター陶 芸館の使用料区分に冷暖房の使用が加えられ るもの。	
預かり保育の実施に関する条例…認定こども 園の整備工事に伴い、預かり保育の実施場所 を市立南幼稚園から沼貴交流館に変更するもの。	
福祉医療費助成条例	

その他	その他
旧債による市有財産の使用廃止（日比野自治会）	
旧債による市有財産の使用廃止（鴨内自治会）	
市有財産の無償譲渡（日比野自治会）	
市有財産の無償譲渡（鴨内自治会）	
市営住宅八日市団地の廃止…丹波市豪雨災害に よる壊滅的な被害で修復が困難となったため廃 止されるもの。 ※特別多数議決	

特別多数議決：基本的には出席議員の過
半数の賛成により議決するが、市役所の
位置を定める条例や議員の資格の決定、除名、
長の不信任議決など、さらに多くの賛成が必要
な場合の議決をいう。

決議	議員提案
議案第54号 丹波市地域医療総合支援セン ター（仮称）及び市立看護専門学校建設工事 に関する変更協定の締結に対する附帯決議→P7	

議案の 審議結果



請願	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度拡 充に関する請願→P8 参照
意見書	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度拡 充に関する意見書→P8
承認	消防団員等公務災害補償条例の一部を改正す る条例制定に係る専決処分 税条例の一部を改正する条例制定に係る専決 処分
発議	議員提案 議会改革特別委員会の設置→P19

■賛否が分かれた議案と審議結果

件名	結果	賛成	反対	議員																			
				谷水雄一	吉積毅	山名隆衛	小橋昭彦	渡辺秀幸	大嶋恵子	大西ひろ美	近藤憲生	小川庄策	広田まゆみ	林時彦	奥村正行	前川豊市	藤原悟	須原弥生	西脇秀隆	西本嘉宏	太田一誠	垣内廣明	太田喜一郎
条例の改正 印鑑条例…マイナンバーカードを利用してコンビニ エンスストアで印鑑登録証明書を交付するにあ たり、多機能端末機での申請について追加するもの。	原案可決	17	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願 実質的「共謀罪」である「テロ等 準備罪」法案に 関する請願 1. 「テロ等準備罪」 の創設を行わないこと 2. 十分議論を尽くして「テロ等 準備罪」法案の慎重審議を行うこと	不採択	2	17	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○
農業者戸別所得補償制度の復活をもとめる 請願	不採択	2	17	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○
意見書 「テロ等準備罪」の新設について慎重審議を 求める意見書→P8	採択	16	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※○は賛成、●は反対、棄は棄権、■は賛成・反対討論を行った議員。委員会と賛否が異なる場合は委員会採決も掲載しています。
※議長は議事進行を行うため特別多数議決特を除き採決には加わりませんが、賛否同数の場合のみ議長も賛否を表明します。

実質的「共謀罪」である「テロ
等準備罪」法案に関する請願

請願者：基本的人権の尊重される社会に
暮らしたい住民の会代表 藤尾周作氏
紹介議員：西本嘉宏議員



【意見書の要旨】
「テロ等準備罪」の新設は、未遂に至らない段階の行為
についても処罰対象となることから、捜査機関による
監視等の範囲拡大につながることも懸念され、言論・
表現の自由やプライバシーの侵害など、基本的人権ま
でもが脅かされる恐れがある。国民の基本的人権を守
り、憲法が保障する思想・信条・表現の自由を十分鑑
みて、「テロ等準備罪」の新設について慎重に審議を行
うこと。
提出先：内閣総理大臣、法務大臣、参議院議長

※付託を受けた総務常任委員会では、
国会での審議の状況を見極め、審議日
程を早めて6月6日に請願審査を実施、
12日の本会議で審査報告・一部採択さ
れ、同日意見書を可決して参議院議長などへ提出しました。
※請願のうち「テロ等準備罪の創設を行わないこと」に
ついては不採択としました。→P9 参照

**【丹波市から「犬・猫の殺処分ゼロ」を
目指すため猫の不妊手術に対する助成
金の制度創設等を求める請願】**
5月18日付で受理 / 請願者：丹波市か
ら「犬・猫の殺処分ゼロ」を目指す会
OneforMee @丹波代表 足立真紀さん
この請願は、付託先の民生常任委員会
において継続審査します。



そもそも「議案」ってなに？
「議案」は、議会の意思決定（議決）を必要とする市の重要
な案件のことをいいます。市の基本構想や条例、予算や決
算など、市から提出された議案はすべて議会でチェックし
て議決します。年4回の定例会には、子育てや介護、教育、
防災など、みなさんに身近な問題が議案として議会にたく
さん提出されます。

議会をもっと身近に！
会議録が検索できる 市議会のホームページか
ら会議録検索システムに
入って、過去の会議録を
見ることができます。
ネット中継でわかる 本会議及び委員会の様子
をライブ配信（本会議は
録画配信も）しています。
パソコンやスマートフォン、
タブレットでご覧に
なれます。
議会に参加できる 議会に対して要望や陳情・
請願などを提出すること
ができます。議会で可決
されれば、国などに対し
議長名で意見書を提出す
ることもできます。

みなさんの声を届けます

提出いただいた請願は、定例会で慎重に審議（査）し、
採択されれば市議会から国等へ意見書を提出します。



請願

教職員定数改善と義務教育費国庫
負担制度の拡充に関する請願

請願者：兵教組氷上教職員組合
執行委員長 増田 博氏
紹介議員：大西ひろ美議員



【意見書の要旨】
子どもたちの教育環境改善のために、計画的な教職
員定数改善を推進すること。具体的な学級規模は、
30人以下学級とすること。教育予算の充実のため
地方交付税を含む国の予算を拡充すること。
提出先：内閣総理大臣、財務大臣、
文部科学大臣、総務大臣



付託：さらに詳しく調査・検討するため、委員会に審査を依頼すること。

**全国市議会議長会
議長・議員表彰**
5月24日、東京国際フォー
ラムにおいて全国市議会議
長会定期総会が開催され
長きにわたり活躍されてい
る議員に表彰状が贈呈され
ました。
受賞議員
奥村正行議員（議長4年）
坂谷高義氏
（12年・前市議会議員）
感謝状
奥村正行前議長（全国市議
会議長会社会文教委員会委員）
太田喜一郎議長（同）



丹波市議会 検索

ココが聞きたい！一般質問

一般質問は、議員個人が自分なりの問題意識を市政に投げかけ、市の見解を直接求めることができる唯一の機会です。今回は、16人が、私たちの生活にかかわることについて質問や提言をしました。

テーマは自由

質問する内容は、議案とは関係なく議員が自由に決め、「通告書」に書いて締切日までに提出します。

制限時間は60分

一人あたりの制限時間は、市からの答弁も含め60分です。

ホームページに質問項目を掲載

掲載しきれなかった質問項目は、市議会のホームページに掲載しています。



今回は
16人の議員が
一般質問を
しました！

一般質問の様子（ライブ中継・録画映像）は市議会ホームページからみることができます。[検索ワード] 丹波市議会インターネット中継

すべての質問項目は
市議会ホームページ
をご覧ください。



山名 隆衛 議員



女子野球と環境教育を全国発信
答 女子硬式野球はトップセールスでPR。環境教育は益々充実

問 女子硬式野球を全国への発信事業として整備・組織しませんか。

答 市のイメージアップとスポーツの活性化により、健康で明るく住みよいまちづくりの推進に貢献いただいております。大変感謝しています。実行委員会への経費と人的支援を可能な限り行います。春日スタジアムの使用料は、実質的負担とならないようさらに検討します。全国放送は、現段階ではハードルが高いですが、今後とも私自身が向いて努力します。

問 「森のムッシ教室」を市内の子ども園に広め、未来の地球を守る子ども



たちを育てませんか。
答 市内の認定こども園では、「森のムッシ教室」の他、自然探索や農園を活用した野菜の栽培収穫、調理、地域と連携した米作りなど、身近な環境に親しみ、自然とふれあう中で畏敬の念や生命を大切にする気持ちを育む教育・保育を実践しています。今後益々充実していきます。

前川 豊市 議員



二病院の跡地利用が重要だ
答 跡地利用は議会や市民の声を聴き、県に提案したい

問 日赤病院の敷地の約6割は旧柏原町の土地です。この跡地利用について前・辻市長は「地元

の思いも十分聞きながら幅広く検討していく」と答弁されていきました。谷口市長はどうお考えですか。
答 旧柏原町が提供した土地と日赤の土地があるため、建物の解体撤去や日赤の土地について協議を進めています。日赤跡地は柏原駅前の一等地であり、じっくり検討していきたいと思っています。

問 県立柏原病院の土地は、現在県有地ですが、当初は県立結核療養所で旧水上郡25町村が提供した土地です。跡地



県立病院の跡地利用にこんな声も

利用については、丹波市として意見を述べていくべきです。
答 県の所有であることから基本的には県の意向が優先されるものですが、市としても活用策があれば提案していきます。2病院の跡地利用については、市議会や市民の皆様のご意見、ご提案も伺いながら引き続き検討していきます。

奥村 正行 議員



谷中分水界日本一「水分け」の整備は
答 テーマ性と求心性を兼ね備えた学術文化・環境保全普及施設に

問 水分け資料館・公園は、周辺を含めた整備が必要ではないか。

答 資料館については、建設当初の地勢や歴史を中心とするテーマを尊重しつつ、新たに「水上回廊と生物多様性」から「地球温暖化等の環境問題」などに言及するテーマ性と求心性を兼ね備えた学術文化施設、環境保全普及施設として整備したいと考えています。

問 訪問者が多い公園奥のヒカゲツツシなどの自然も含め、公園周辺整備が必要では。

答 水分けの整備については、施設としての視点を、人



自然豊かな場所に建つ水分け資料館

向山と高谷川の流れを含めた水分けゾーンという面の視点をもち、豊かな自然景観を提供できると考えています。今後基本方針を取りまとめ、本方針をとりまとめ、議会に報告します。

問 水分け交差点から公園までの市道を分水界が分かるよう色分けできないか。

答 担当部と調整・検討します。

林 時彦 議員



協定書通りの事業執行を求めます
答 県の財政当局の意向に沿う必要もあると思います。

問 看護専門学校整備に関する協定書では、市の実質負担額はゼロとする

と明記してある。今回約1億5千万円の負担を認めた覚書は、協定書から後戻しているのではないか。
答 市としては、県の財政当局の意向に沿っていく必要もあると思います。病院統合では、知事に英断をいただいた。今回の建設が終わっても、市と県とは共に手に手を取って病院事業を軌道に乗せていきたいと思う気持ちの一環として、ご理解願います。



新病院にかかる基本設計概要イメージパース

ならないので、後戻りしたくないというごことですね。協定書を破るような協議で、市の負担額が出ることを是として覚書の締結をされたのでしょうか。
答 医師会、県立柏原病院、柏原赤十字病院などと折衝した結果、この必要性を是として決めたのです。

太田 一誠 議員



恐竜と道路で「心の交流」を増
答 自治体連携で新たなまちづくりや高規格幹線道路で交流増を願います

問 恐竜を活かしたまちづくりのこれからの方針は。

答 5月23日、北海道むかわ町、熊本県御船町、篠山市、丹波市の4市町で覚書を締結し、11月26日の恐竜フェスタで協定書を取り交わす予定です。普段見るここのできない化石を見る機会を増やすことで、丹波市の全国ファンを増やす効果が期待できます。

問 国道429号横峠トンネル化と国道175号早期改修について。

答 429号は、県の事業進捗に合わせ市道小和田平野線の道路整備を予定しています。175号はこの道路整備により、地域間によりなる「心の交流」が生まれることを願っています。



恐竜を活用した自治体連携の覚書と国道429号



丹波市役所

西脇 秀隆 議員

**県下一高のゴミ袋代金を半額に
答見直しは困難です。**



問 要保護・準用保
護家庭への入学
準備金を入学前に支
給すべきではないで
すか。

答 実施時期は明言
できませんが、
入学前支給の方向で
検討します。

問 原発再稼働に市
は反対すべきで
はないですか。原子
力災害対策委員会の
立ち上げはどのよう
にしていますか。

答 国の安全基準を
満たして再稼働
している中で、反対
の意見表明をする考
えはありません。原
子力災害対策委員会
の立ち上げは、庁舎
内で相談します。

問 丹波市のゴミ袋
(大)の代金は、
80円と県下で一番高
く、近隣自治体は40
円前後となっています。
半額の40円にす
べきではないですか。

答 コミ袋が高いこ
とで市民の努力
もあり、コミ排出量
を低く抑えており、
環境負荷を軽減する
ことへの意識が高い
市となっています。
経費等もあり、見直
しは困難です。



県下一高の丹波市のゴミ袋

藤原 悟 議員

**JR柏原駅にエレベーター設置を
答病院跡地等の利用計画が具体化し
駅整備が必要になれば検討します**



問 JR福知山線複
線化に向けた利
用増進等の今後の取
組み、谷川駅をは
じめ駅舎の利活用の
考えは。

答 福知山線の全線
複線化をめざし
ての利用増進事業の
継続として、JR・
国土交通省等への要
望活動においては、
丹波大山駅から福知
山駅間でのCOCA
Aの利用環境の整備
に重点を置いて押し
進めていきます。駅
舎の利活用は、観光
を活かした「地域お
こし協力隊」の情報
発信基地として活用
できないか等、有効
な方策をJRに提案
し協議していきます。

問 スポーツイベン
ト参加者や来丹



JR駅舎の利活用で地域の活性化も(JR谷川駅)

広田まゆみ 議員

**妊産婦のためのデイサービス施設を！
答妊産婦の家庭訪問や保健指導をし
ているので、提案は今後検討します**



問 春日井市のように
に妊娠中または
1歳児未満の乳児を
持つ母親を対象にデ
イサービスを実施し
ていただきたい。

答 丹波市の妊産婦
ケアは、妊娠届
時の面接、妊婦家庭
への訪問、新生児期
の産後の家庭訪問や
保健指導を実施して
います。保護者の二
人に合わせた保健指
導体制に拡充してい
きます。



市立看護専門学校

問 臨時財政対策債
は赤字地方債で
すが、元利償還分は
将来にわたって国が保
障してくれることに
間違いありませんか。

答 将来にわたって措
置されるものと
考えております。

小橋 昭彦 議員

**市民活動の見える化を
答市民活動支援センターの検討に
あわせて取り組みます**



問 市民活動の見え
る化を図るた
め、「市民の100
日祭」として活動を
とりまとめた公募
したりは。

答 平成31年の市民
プラザ開設に向
けて市民活動支援セ
ンターを検討するな
かで、本年度は市民
活動団体の調査を行
います。提案の手法
を参考に、より積
極的に市民の活動を
集約できる方法を検
討します。

問 シティプロモー
ションがめざす
まちの姿は。また、
手法はオンラインワ
ンですか。

答 全国に公募する
パートナーシッ
プ事業は希少な取り
組みと考えます。め



多くの市民活動団体が出展し、1日だけ開催される市民活動まつり(篠山市)

近藤 憲生 議員

**ふるさと観光大使による全国PRを
答丹波ゆめ大使等の名称をつけ魅
力発信やPRの協力を求めます**



問 各界で活躍され
ている丹波市出
身の方や丹波市にゆ
かりのある著名人に
ふるさと観光大使を
要請し、全国に丹波
市をPRしていただ
いてはごですか。

答 現在は「丹波電
のちーたん」に
より、積極的にPR
等を行っています。
丹波市ファン・仕組
みづくりのため、「丹
波ゆめ大使」等の名
称をつけ情報発信や
PRの協力を求めて
まいります。

問 舞鶴若狭自動車
道の上下線から
直接進入できる駐車
場を、春日インター
付近に設置し、道の
駅利用者の増加を。

答 西日本高速道路
(株)「JANET」



観光大使としてPRの一翼を担っている「丹波電のちーたん」

須原 弥生 議員

**訪問看護師等の安全確保対策を
答実態に即して、実施の方向で取
り組んでまいります**



問 訪問看護師・訪
問介護員が利用
者等からの暴力等で
2人以上の訪問が必
要な時、加算相当額
一部を補助する県の
取組みに市はどの対
応する考えですか。

答 要介護高齢者や
障がい者が安心
して在宅で暮らし続
けるため、サービス
体制を充実させる必
要性が増す中、介護
基盤の充実強化及び
福祉人材の確保や、
離職防止の観点から
も、実態に即して実
施の方向で取り組み
たいと考えます。

問 市島地域の「高
谷山」を整備し
て更なる観光地に
出さないでしょうか。

答 高谷山頂は樹木
の剪定や芝生の



高谷山頂からの風景

小橋 昭彦 議員

**市民活動の見える化を
答市民活動支援センターの検討に
あわせて取り組みます**



問 市民活動の見え
る化を図るた
め、「市民の100
日祭」として活動を
とりまとめた公募
したりは。

答 平成31年の市民
プラザ開設に向
けて市民活動支援セ
ンターを検討するな
かで、本年度は市民
活動団体の調査を行
います。提案の手法
を参考に、より積
極的に市民の活動を
集約できる方法を検
討します。

問 シティプロモー
ションがめざす
まちの姿は。また、
手法はオンラインワ
ンですか。

答 全国に公募する
パートナーシッ
プ事業は希少な取り
組みと考えます。め



多くの市民活動団体が出展し、1日だけ開催される市民活動まつり(篠山市)



**町域を超えたデマンドの運行を
設け、運賃の軽減も検討します。**

問 デマンド・タクシーの旧町域への運行見直し状況はどうか。安心して暮らせる公共交通体系の再編をめぐらすべき。

答 乗継ぎを基本とした運行形態を考えています。協議調整ができれば早期に実施します。持続可能な公共交通体系は、必要改善を進めます。

問 県下の番目に高い上下水道料金の引下げはシニア人口モーションの重要な要素です。一般会計の繰出しも求めたい。

答 上水道は今後料金を検討を行いますが、今すぐ値上げする状況ではありません。下水道は料金総収入は減らさず、小口使用者等へ

の料金体系を見直します。

問 「農の学校」は農業への志向と再生に期待している。構想や計画はどうか。

答 特産物の栽培技術習得に加え、有機農業の栽培技術の習得をめざし、他の地域との差別化を図ります。市島地域を考慮しており31年度の開校をめざします。



見直しが進められている「デマンド（予約）型乗合タクシー」



**デマンドバスの乗継整備と活用は
啓発活動を検討していきます**

問 丹波市ファン拡大的にも、クラウドファンディングは有効な自主財源の発掘と考えます。取組みはどうかお考えですか。

答 資金調達に加え、広く丹波市をアピールできる手段と考え、先進的な自治体の取組状況を調査します。丹波市に共感・応援したいと思っただいた



情報発信の拠点として重要な施設である、市内「道の駅」

方から、ふるさと納税制度の仕組みとクラウドファンディングを組み合わせた「ガバメントクラウドファンディング」の活用なども視野に入れて検討していきます。

問 民間意識を持ちつつ、自主財源の廃校舎利用の取組も必要と考えますが、どうお考えですか。

答 丹波市創生シニア全国公募パートナーシップ事業やサウンディング型市場調査で、議員提案の取組みのような独創的で有効な提案が民間事業者からされることを期待しています。



**今度しよう、公衆トイレの改善は
大変重要なものと認識し、積極
的・計画的に整備を行う予定です**

問 丹波市に観光客を呼び込むためには公衆トイレの充実は大変重要なことだと思いますが、谷口市長、「今度しよう」。

答 議員ご指摘の通り、観光地にとって公衆トイレを利用された時の印象は大変重要なものだと認識しております。公衆トイレ等洋式化に



たなばた短冊に願いを込めて

ついては、予算の範囲内で計画的に整備を行う予定にしております。

問 和田中学校・山南中学校統合について、平成30年度から協議・検討が再開されると聞いていますが、岸田教育長は再開に向けてどのような思いで進めようとお考えられていますか。

答 平成30年度に学校統合の協議を再開し、建設候補地の提案、また、生徒がよりよい学校生活を送れるように取り組んでいきます。



**愛される丹波市へ市民の声を！
市民のみならずまから直接ご意見を伺いたいとの思いから…**

問 市民のみならずの思いや願いの声をどの様に聞いていますか。

答 ホームページは随時ご意見をいただける環境を整えています。市民の方から直接ご意見を伺いたいとの思いから、20年1月より「まじり市長室」を月一回開催しています。今年度は市民主体のまちづくりを推進するため、テーマ別のタウンミーティングを開催する予定です。

問 市民満足度の向上対策は。

答 平成28年度「市民意識アンケート」では平均58点と高くない状況です。今後人口減少下においても市民一人ひとりが幸せを感じて暮らしていけるよう市政を運営していきます。

問 地域や市民活動の応援サイトを。

答 団体活動の内容やイベント事業などの情報を発信し「見える化」をすることで「参加してみよう」「自分もやってみよう」と運動への参加意識の増大に繋がるとして大いに共感します。



**自転車走行指導帯の設置を！
観光の視点、交通安全の視点から有効であると考えます。**

問 サイクリングロードとして、少ない予算で実現可能な自転車走行指導帯を設置しませんか。

答 観光としてのサイクルロードの整備として、これを進めることで、市内の観光地を周遊することができ丹波市の魅力発信につながり、さらには「これまでの自動車での観光の楽しみ方と異なる、自転車な



金沢の自転車走行指導帯

らではの楽しみ方が開発される可能性があります。県民局とも協議し、具体的にスケジュールを定めながら進めていきます。

問 子どもたちを守るため、交通弱者を作る見直し、学校の通学路を中心に自転車走行指導帯を設置しませんか。

答 学校や地域から交通に関する危険箇所を毎年伺い、可能な限り対応を進めているJMSです。自転車走行指導帯に関しては、具体的に関係機関との協議や地域との合意形成が必要とJMSは考えます。

議場って どんなところ？

トライやるウィークで議場見学に来てくれたふたりに聴きました。



谷口天翔さん (柏原中2年)

岡林和貴さん (柏原中2年)

議会で、僕たちの将来のことも話し合われているのだろうか、どんなことが話し合われているのかと大変気になりました。僕たちの中学校もきれいになります。ありがとうございます。

議場の中を見せてもらっている間、敷き詰めてあるじゅうたんがフカフカで居心地がよかったです。議長席に座らせてもらったら、議員さん全員を見下ろせるぐらい高くて驚きました。議員さんには、それぞれ会派があり、意思統一をするために勉強会をされている様子を見せてもらい、議員さんも勉強をされているのだと初めて知りました。

*一般質問の原稿は、質問した議員が各自作成しています。

政務活動費の収支を報告します

1. 議員一人あたり月額1万円

市民のみなさんの関心が高い「政務活動費」。丹波市では、「会派」もしくは「会派に属さない議員」に対し、議員一人あたり月額1万円が交付されています。

2. 使途は調査研究やスキルアップ

使い道のほとんどが、会派による先進地への視察や研修会などへの参加費、交通費などです。このほか、宿泊費（上限あり）や資料代、会報発行費にも使用できます。



今回は、第4期議員の政務活動費の報告です。

政務活動費

期間：平成29年1月～平成29年3月 (単位：円)

会派名・所属議員	人数	交付額	支出合計	返還額
日本共産党議員団	2	60,000	51,021	8,979
西本 嘉宏 西脇 秀隆	*2月15日 視察 兵庫県宍粟市 公共交通・林業 兵庫県相生市 子ども・子育て支援策 ※会報発行費 43,500円を含む			
公明党	2	60,000	60,000	0
藤原 悟 須原 弥生	*1月20日 地方議会議員セミナー(大阪) 「データで読み解く人口減少対策」			
丹波クラブ	3	90,000	82,214	7,786
奥村 正行 前川 豊市 林 時彦	*2月15日 地方議会総合研究所 京都セミナー 「政策議会」と市民参加、質問力になろう「政策議会」 ※旅込手数料 864円を含む			
新風クラブ	2	60,000	33,620	26,380
太田 一誠 垣内 廣明	*1月20日 地方議員研究会(大阪) 「若年層を取り巻く雇用環境と結婚支援政策の問題点と課題」「人口減少社会における出産と子ども・子育て支援策の問題点と課題」			
丹新会と維新	10	300,000	266,189	33,811
山名隆衛 小橋昭彦 谷水雄一 吉積 毅 渡辺秀幸 大嶋恵子 大西ひろ美 近藤憲生 小川庄策 広田まゆみ	*1月28日 市民との意見交換会「丹新カフェ」 ※施設使用料等(6,510円)を含む *2月15日 地方議会総合研究所 京都セミナー 「政策議会」と市民参加、質問力になろう「政策議会」			
無所属(議長)	1	30,000	0	30,000
太田喜一郎				



丹波市が抱えるさまざまな課題を調査するため、各常任委員会で先進地を訪問し、視察研修を行いました。

鹿児島県柳谷地区・愛知県春日井市など先進地に学ぶ

視察報告

4/25～26 産業建設常任委員会

北陸2市に学ぶ、公共交通空白地帯ゼロと「伝統産業×クリエイター」のまちづくり



市内全域を網羅する公共交通体系を整備(福井県大野市)

集落ごとの人口を把握し、人の流れ、時間帯等を考慮した交通システムは、丹波市においても十分考慮しなければなりませんと感じました。

公共交通空白地域の解消や市街地における利便性の高い交通環境を構築するため、従来のJRや広域路線バスを維持しつつ、市街地では「まちなか循環バス」を、また、市街地周辺では「乗合タクシー」と「市営バス」により、市内全域を網羅する公共交通体系が整備されています。

クリエイターが伝統産業に新たな価値を生み出す(富山県南砺市)



静かでゆったりした環境の中、さまざまなイベント等が企画できるクリエイタープラザ「桜クリエ」。入居施設以外にも多目的ホールやオープンスタジオ、カフェ等が併設されている。

伝統産業などの「素材」を活かしきれない課題を抱えていた南砺市では、創造力と高い感度、斬新な切り口をもつクリエイターに着目。クリエイターの集積を図り、拠点施設となるクリエイタープラザをハイウェイオアシス内に設けた。高感度のクリエイターの感性が、南砺の素材を見事に引き出し、新たなコト・モノを生み出す。眠っていた産業に新しい価値が生まれるとともに、「やりたいこと」が「できる」南砺の創出にもつながった。



新たな施設整備を考える際の参考になりました。丹波市は京阪神からも近いので、もっとアピールするべきですね。



桜クリエホームページ

4/24～25 民生常任委員会

愛知・岐阜で学ぶ ママのためのデイケアサービスとアイデア勝負で消防力の強化



妊産婦ケア～さんさんルーム(愛知県春日井市)

産前・産後の肉体的・精神的負担を和らげるため、ここで子どもをみてもらいながら1日ゆったり過ごすことで、母親が安心とゆとりを取り戻す時間になっている。

「主役はママ」をキャッチフレーズに、総合保健医療センター内に専用スペースを設け、ママのためのデイケアサービスを開業。母親が安らげる空間の提供と、保健師・臨床心理士・栄養士による相談支援を行っている。

対象：妊娠中または1歳児未満の乳児を持つ母親(市民)。
定員：1日7組(予約制)
利用料：1回1,000円。
利用者数：延べ995組(H28)

育児疲れや不安を感じている母親のケアはとても大切。丹波市でも、これまでさまざまな施策が進められてきましたが、このような母親自身のケア専用スペースも検討できればと思います。



消防団員確保対策(岐阜県関市)



市内事業所で団員等が特典を受けられる「消防団サポートプロジェクト」や年末警戒の時間短縮により団員や家族の負担を軽減するなど、ソフト面での配慮も大きい。

消防団員の確保が全国的な問題となっている中、行政が主体となり、女性、学生、消防団OB、事業者を巻き込んで消防団員確保の取り組みをしている。消防学生隊、消防団ドローン部隊、防災バスと、さまざまな視点から団員の確保に努めている。また、昼間の消防力強化のための「市役所隊」、地元企業の女性10名がPR活動や訓練等を通じて企業内での防火・防災リーダーとして活躍する「T-SELF(企業別女性団員)」等も発足した。

現職消防団員へのアンケートから課題を見つけ、各種事業を進められていた。丹波市でも、消防団員の意見を十分聴き、消防団員確保対策を進めるべきと感じた。



4/11～12 総務常任委員会

「森の学校」と「やねだん」に学ぶ、廃校活用とまちおこし



「たからべ森の学校」(鹿児島県曾於市)

地域との交流にも力を入れ、「学校恋活」や「星空映画館」などおもしろい企画で地域活性化の原動力にもなっている。職員室を改装したカフェも人気。

閉校した中学校の利活用にかかる市の公募で、従業員数名の小さな会社が選定された。同社は、鹿児島市内でHP作成などを行うIT企業で、新規事業として職業訓練や農業人のIT研修などを行う「たからべ森の学校」をスタート。県が職業訓練施設として認定し、国の離職者向け職業訓練施設として「農業人材育成科」(6か月)も設けられている。



森の学校ホームページ

社長の熱意と市の支援、県や国の認定が成功の鍵と言える取組んで、委嘱料よりうまく運営されている。丹波市でもぜひ生かしていきたい。



地域住民主体のまちづくり(鹿児島県鹿屋市柳谷地区)

耕作放棄地にサツマイモを植え、焼酎「やねだん」を製造。唐辛子も栽培して商品化するなど自主財源の確保に努めている。写真は、観光案内所の外壁一面の観光マップ。

柳谷地区＝通称「やねだん」。平成8年に豊重哲郎さんが自治公民館長に就任して以来、「行政に頼らないまちおこし」を実践している。地域住民で栽培した作物で焼酎などの製造・販売をし自主財源を確保。また、韓国との交流や空き家の活用も行い、写真家・画家など文化人も数多く移住している。



やねだんホームページ

強力なリーダーのもと、集落を何とか活性化しようという住民の意志がうまく結合し、村おこしが行われていることを強く感じました。「行政に頼らないまちおこし」は、私たちに強い衝撃を与え、大きな教訓になった。丹波市でも地域のリーダー育成が大きな課題



進めています、議会改革！ 議会進化論

- 1 -

また、議会運営委員会（各会派代表等）による委員会（各先進地の視察に行くほか、議会報編集委員会でも広聴活動（市民の声を聞く機能）のあり方についての研究も進めていきます。

広報広聴のあり方も研究
6月定例会では、議会改革推進チームの検討結果報告を受けて、「議会改革特別委員会」を設置しました。

丹波市議会では、市民のみなさんに開かれた議会をめざして、現在、議会改革を進めています。3月には「議会改革推進チーム」を発足し、議会基本条例※の検証を進めてきました。

**市民に開かれた
わかりやすい議会を
めざして**

開かれた議会に向けた改革の様子を毎号ご紹介します。お楽しみに。



議会基本条例
議会のあり方等を規定する、市議会の最高規範にあたるもの。

- 「議会改革特別委員会」
- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 藤原 悟 |
| 副委員長 | 山名 隆衛 |
| 委員 | 谷水 雄一 |
| 委員 | 小橋 昭彦 |
| 委員 | 奥村 正行 |
| 委員 | 西本 嘉宏 |
| 委員 | 太田 一誠 |
- （6月26日設置）

今後は、具体的な条例の見直しや取組み内容を審議し、行動に移していきます。

市民と議員 互いの距離が近づく時間 議会報告会 & 意見交換会

TAKUSAN-NO KOE -WO ARIGATOU

子育て
保育料や学費・給食の免除ができないか。

こども園
丹波市では、保育園問題はなしと聞いていたが入りにくいこども園もある。

Workshop

新病院
デマンドを利用して新病院へ行ける方法を考えて欲しい。

病院跡地
日赤の跡地は国道沿いなので、有効に活用してほしい。

リーダー養成
地域活性化のためにもリーダー養成の機会が必要ではないか。市としてどのように進めているのか。

空き家
空き家を活用した民泊を運営するなどできないか。

自治会
自治会の責任や負担が大きい。

行政
市への要望書の回答が遅い。回答内容も要望の趣旨と少し異なっていることがある。

自治協
自治協の活動を市は評価し、取組みに応じたメリハリのある交付金の交付方法をとってほしい。

新病院
期待しているが、開院までにはまだまだ資金問題があるようだが大丈夫か。

農業
市は鳥獣害対策にもっと力を入れるべき。

新人議員にとってはじめての進行役となる意見交換会でしたが、みなさんのご意見を直接お伺いすることができてとてもよかったです。

このまちの「あした」がみえてくる。 議会傍聴に お越しく下さい

受付で傍聴者受付簿に住所とお名前をご記入の上、会議資料を受け取ってお入りください。



一般質問では声が小さくて聞こえない方がいらしたのが残念でした。また、もう少し系統立てて、抽象的ではなく具体的な質問された方が回答とかみあって良かったのではないのでしょうか。

佐藤 裕之さん
（神戸市在住 80歳）

9月の定例会

今回は9月1日から始まりです。ぜひお越しください。

日	曜日	内容	開会時間
1	金	本会議（議案提案）	9：30
5	火	本会議（一般質問）	9：00
6	水	本会議（一般質問）	9：00
7	木	本会議（一般質問）	9：00
11	月	本会議（議案質疑・委員会付託）	9：30
13	水	総務常任委員会	9：30
14	木	民生常任委員会	9：30
15	金	産業建設常任委員会	9：30
19	火	補正予算特別委員会	9：30
20	水	決算特別委員会	9：30
21	木	決算特別委員会	9：30
26	火	決算特別委員会	9：30
27	水	決算特別委員会（総括審査）	9：30
29	金	本会議（議案の採決）	9：30

*上記の日程は変更になる場合があります。最新の情報はホームページなどでご確認ください。

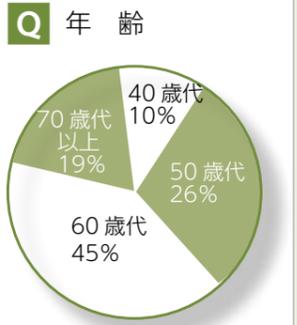
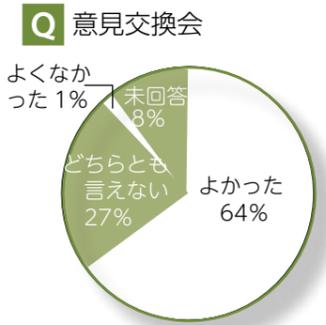


今年もたくさんのご意見をお伺いすることができました。
と き：5月16日（火）～18日（木）午後7時30分～
会 場：市内各地域（6会場）で実施 参加者：176名
内 容：①議会からの報告（新年度予算・地域医療総合支援センター等の概要説明）②意見交換会（少人数のグループで意見交換）

参加者アンケートの結果から（参加者176人中156人が回答 / 回答率89%）

【意見交換会について】

- *参加者の方々の考えが勉強になった。
- *いろいろな課題が聞けてよかった。
- *地区内の切実な問題が多く出ていた。
- *いろいろな意見が参考になった。
- *少人数で忌憚のない話ができ、意見が出やすい工夫がされていた。
- *反映されるかどうかは別にして、意見を知らせてもらえた。
- *立場立場の考え方がおもしろかった。
- *ほかのグループの声や雑音で聞き取りにくかった。
- *グループ討議がよかった。



いただいたご意見の
総数 375件